

# 超ハイパワーな杭打機

## 山田機械工業が発売

# 打撃力大幅アップ

### 優しい独自の防振機構 獣害防止対策などに

山田機械工業(平井正人社長・兵庫県神戸市西区岩岡町古郷1534)は7月から、新型の超ハイパワー型杭打機「ピーパー杭打機RP1051」を発売した。杭を打ち込む打撃力を大幅にアップし、作業の省力化を一層進める一方、特許出願中の独自の防振設計を施すことで、作業者に優しい機械に仕上げている。いま、鳥獣による農作物被害が全国各地で広がっているが、特に獣害については、網、柵などで作物を囲む方法が最も効果があるといわれており、そうした施設整備を進める上で杭打ちは必須の作業となる。今後の成長商品として、同機の動きが注目される。



平井社長

杭打機の魅力は、農業はもとより林業、造園業、土木・建設業など、対象ユーザー層が広いこと。同社は、長年にわたる「ビッグハンマーRP1042シリーズ」「マジックハンマーRP1022シリーズ」の供給で着実に実績を積み上げてきており、コンパクト・パワフルな杭打機として高い市場評価を得てきた。そうした中で積み重ねてきたノウハウを活か

し、従来機よりも大幅に打撃力をアップした今回の「RP1051」は、これまで難しかった硬い土壌への単管、木杭などの打ち込みを可能とし、加えて衝撃吸収スプリング付きハンドルとしたことで作業者に伝わる振動を低減、身体への負担を軽くし、疲労軽減にも役立つ機構とした。エンジンは信頼性の高いエンジンで、抜群の耐

いハスタバーナ・ゼノアエンジンを搭載、安定した動作を実現し、同機1台で杭打ち作業ができるため作業効率がアップ。また、エンジン式のため、油圧式や電動式のように配管、配線が不要で、様々な現場でその機動力を發揮できる。機体は、ピーパーの長年の知識を活かしエンジンに負担をかける構造で、抜群の耐

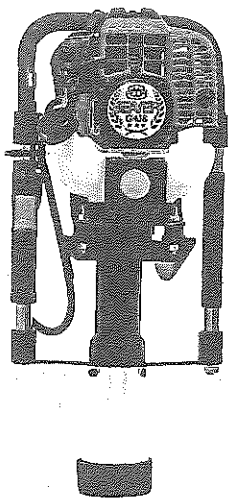
久性も有している。持ち運びに便利なキャリーケース付きで、杭の直径に合わせ、73mm、55mm、45mmの3種類の交換用スリーブが付属されている。杭の直径との関係は、▽杭直径78mm、68mm、55mm、スリーブなし▽同68mm、50mm、73mm、スリーブ▽同50mm、40mm、55mm、スリーブ▽同40mm以下▽45mmスリーブ。同社は、杭打ち作業が必要な業種として、農業、林業、建設業、造園業、花き生産業、ノリ生産業、ゴルフ場、ソーラーパネル設置業など、幅広いターゲットをあげており、林業では新芽に対する鹿

の食害、ゴルフ場ではイノシシによるコース荒らしなどの事例がある。これらを防止し、農産物被害、林産被害の軽減を簡単・ラクに進めることができる製品として、同社は杭打機の拡販にさらに注力していく方針で、農機販売店などにその機能をアピールしていく。

超ハイパワー型杭打機RP1051の主な仕様は次の通り。

- ▽エンジン 112サイク
- ル、排気量41・5cc▽外形寸法(全長) 11680×310×275mm▽重量(エンジン含む) 17kg▽使用できる杭の材質 11木、単管、樹脂、C型、Y型鋼など▽同外径1178mm以下▽燃料 112サイク専用オイル混合ガソリン(混合比50対1、FC級、FD級)▽グリス 11リチコン系(エポネックスSR No.2)▽燃料タンク容量 110・74リットル▽始動方式 11リコイルスタータ▽防振装置 11コイルスプリング付防振ハンドル

同機の希望小売価格は税込み37万9500円。



打撃力を大幅にアップした杭打機RP1051